

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕事の内容	園芸振興対策事業費・ファーマーズセンター運営費					
担当部署・課長名	産業振興	課	農政	係	課長名	小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	3 - 3	-
【施策名】 都市農業の振興	総合計画書 (ページ)	73	

予算名	款 6	農林業費	項 1	農業費	目 4	園芸振興費	事業 1	園芸振興対策事業費他
-----	-----	------	-----	-----	-----	-------	------	------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	区画数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 農作業を通じて農産物や農業に親しむ	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 市民農園利用者数 →
③ そのために何をしましたか。 農家から農地を借り受け、市民に貸し付ける。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 利用率(利用者数/区画数) →	

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	213	202	200	/
	成果指標	②の数値	人	213	200	200	/
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方				
	活動指標	③の数値		100%	99%	100%	/

3 経費	事業費(実績)		円	9,661,012	9,480,518	9,146,095	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	5,674,612	5,978,318	5,593,795	
		特定財源	円	3,986,400	3,502,200	3,552,300	
		(うち受益者負担)	円	3,986,400	3,502,200	3,552,300	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	10,487,712	10,305,818	9,970,495		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 特定農地貸付法(平成元年施行)により、地方公共団体が農地を借用して市民農園を開設できるようになった。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 生産緑地地区に指定されている農地を市に貸し付けたまま相続が発生すると、必要な証明書類の発行に問題が生じる。 新たな法律(都市農地の貸借の円滑化に関する法律)が施行されたことにより、上記課題が解決され農地の貸借がしやすくなった。

仕 事 の 内 容	園芸振興対策事業費・ファーマーズセンター運営費			
担当部署・課長名	産業振興	課	農政	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	市民のニーズは高い。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	未使用の農業資材や、区画以外の部分の除草への対応。 市民農園の周囲が住宅に囲まれているため、雑草や土ぼこりへの対応。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	定期的な農園の巡回と、除草の実施。			
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	担当職員だけでは全ての農園に手が回らない。			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 将来的な作業時間が減少するよう防草シート等を導入し、農園の柵（フェンス等）を新調する。			
成果	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	施設・設備の修繕にまで手が回らず、そのうえ多額の修繕費がかかると考えられる。			
経費	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。	